

Tokofarm 東川町東3号北22番地 ☎0166-82-0444

青果卸「東興青果」が展開する農業生産法人 全道約70の農家と契約 インターネット販売も堅調

愛知県春日井市に本社を置き、東京、兵庫、長野、静岡、福岡など国内7カ所に営業所を構える青果卸の東興青果（愛知県春日井市東山町3丁目・吉田彰代表取締役）が、北の拠点として旭川営業所を開設したのが2005年6月。07年、東川町に越冬倉庫650坪、

総合集配センター予定地として3100坪を購入し、北海道営業所を移転。同20年10月に同社の北海道初のグループ会社として農業生産法人「Tokofarm」を設立した。同ファームでは、美瑛、上富良野、帯広、美幌など全道の約70の農場と契約し、農地面積は300

町を超える。農作物は「適地適作」を基本に、アスパラやジャガイモ、かぼちゃ、玉ねぎ、とうもろこし、ブロッコリーなどを主に生産。社屋に併設する約5500坪の広さの総合集配センターで選別し、親会社である東興青果のネットワークを活かして全国の市場や量販店の配送センターに出荷している。

選果場には、1日当たり換算して玉ねぎなら20ト、ジャガイモ15ト、カボチャ20トという高い選果能力を持つ選果機を導入。また貯蔵した雪の融解熱を利用して冷気を巡回させる水室を導入し、収穫した野菜を鮮度を

保ったまま保管している。2年前からはインターネット販売にも力を入れており、自社で生産した野菜を中心に、米、海産物、乳製品などの販売も行い、全国にユーザーの輪を広げている。

また、東興青果のグループ企業の一つ、イーストライン「ラ・ヴィンユ事業部」では自然派ワインの直輸入と販売を手がけており、全国各地に専門店を展開。旭川市内では4条6丁目にワインバーを構えている。

同事業部では、化学肥料や除草剤を使用せず、土壌の個性を活かした自然方法で生産される自然派ワインを提供。工業生産では味わえないナチュラルな味わいのワインを求めするために自社バイヤーがフランスの産地に自ら赴き、畑からカーブまで全てを視察し、納得した銘柄のワインだけを直

輸入。40人以上の生産者から届くワインは200種類以上に及んでいる。同事業部の直営店である旭川店は24名収容できる広さ。1階はカウンタ1席とスタンディング席、2階は貸し切りが可能なテーブル席を用意。東川で自家栽培した野菜をはじめ、鴨や季節の魚介を使った料理など良質なワインの味を引き立てる料理でも定評が高い。

なお同社では被災地支援活動にも力を入れており、2月20日にはホテルセンチュリー静岡で「東日本大震災チャリティワイン会」を開催。フランスワイン80種類500本をはじめ、チーズ、生ハム、オリーブなどを揃え、当日は330人が来場。参加費の一部とボトルワインやおつまみの販売ブースの売り上げは福島県郡山市に義援金として寄付した。

北海道経済 2012.4月号



Tokofarm社屋



高い処理能力を持つ選果機